

| No. | 質問                                                                                                                                                     | 回答                                                                                                                                                     |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | Ciniiの海外からの利用者内訳が15.4%あるとのことですが、訪問元はどこか分析されていますか？（例：ディスカバリーサービスからなど）また、分析している場合、ご教示いただくことは可能ですか？                                                       | 海外からの訪問先として最も多いのは米国で、以下、香港、中国、香港、フランス、シンガポール、韓国と続きます。                                                                                                  |
| 2   | 機械翻訳したメタデータをディスカバリーサービスに提供したり、Google検索の対象となるようにしたりと、Ciinii内で検索する場合以外にも検索対象となる予定ですか？                                                                    | 本番環境への移行後、Google等から英語のランディングページを検索可能にすることを検討しております。                                                                                                    |
| 3   | 多言語対応に関連して、国外のデータベースとのデータ連携（CiNiiResearchからのデータ提供）や国際的な認知度向上に向けた取り組みなどのご予定はありますでしょうか？                                                                  | CiNiiの情報源の一つであるIRDBのデータ(国内の機関リポジトリのデータを集約したもの)についてはOpenAireに提供しており、そちらで検索可能になっています。                                                                    |
| 4   | CiniiLabsのダンプデータを利用できるのは大学機関だけでしょうか？大学機関から図書館システム開発業者などに、内容調査把握依頼をするのは不可でしょうか？                                                                         | 必ずしも機関が大学等研究機関である必要はありません。用途が研究用途ということです。研究用途ということは、研究支援的な用途も含めて構いません。調査がそのようなものであれば構いません。                                                             |
| 5   | 目次情報をどのように識別可能にしてCiNiiに渡すか、もあるかと考えました。JPCOARスキーマでも内容記述の中に「目次情報である」ことを明らかにして記述できます。その他、CiNiiでの処理の際、関連識別子をどのように処理するか仕様がわかれば、図書館での記述もしやすいかと考えました。ご検討ください。 | ご提案ありがとうございます。目次情報については、今後どのようなことができるか検討していきたいと思っています。                                                                                                 |
| 6   | CiNiiResearch海外からの利用率を促進する施策や広報活動についてご教示いただきたいです。                                                                                                      | 今回の翻訳版に試行については英版のプレスリリースも用意してサイトに掲載しました。現在のところ他には考えていないのですが、もし適切なチャンネル等をご存じであれば、NIIにお知らせいただければ検討いたします。                                                 |
| 7   | Cinii Booksに登録されていた洋書のデータは今後どのような利用を考えているのでしょうか？                                                                                                       | CiNii Booksに収録された洋書のデータにつきましては、大学図書館所蔵の書籍のデータとしてCiNii Booksに収録されたものであり、現在もCiNii Researchにおいて利用されております。<br>「翻訳機能」に関係した何か特別な利用といったことについては、現時点では特にございません。 |
| 8   | CiniiLabsのダンプデータですが、研究成果物のメタデータに機関名称が含まれていないものも多いと思いますが、分析可能なデータは全体に対してどのくらいの割合になるのでしょうか。                                                              | 現在のCiNii Labsのダンプデータには所属機関の情報は含まれていません。                                                                                                                |